

シリーズ8

「流れ」でおさえよう！

ヨーロッパが「大航海時代」に突入していた頃、日本では鉄砲が流入・使用されることで、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康によって戦国乱世の時代が終わり、全国統一が実現していきます。

安土桃山時代は、全国統一に向けた歴史のベクトルが動き始めた時期と言えます。全国統一（戦のない時代）に至る信長や秀吉の「奮闘」「頑張り」が見物ですね。

そんな時代の、動きを流れでおさえていきましょう。

第7回 安土桃山

<織田信長の戦い>

桶狭間の戦い → 姉川の戦い・石山合戦 → 長篠の戦い → 本能寺の変
1560年 1570年 1575年 1582年

今川義元を破って勢力を確立した織田信長は、近江の姉川で浅井・朝倉連合軍を破り、翌年には比叡山延暦寺を焼き打ちにします。1570年には信長最大のライバルとも言える石山本願寺との石山合戦も始まりました。1575年には、長篠において大量の鉄砲を使って武田勝頼を破ります。そして、1580年には、正親町天皇の仲介により、石山本願寺の顕如と和睦し、10年にわたる石山合戦は終わりを迎えました。1582年の天目山の戦いで武田勝頼を滅ぼした後、家臣の明智光秀の謀反により織田信長は命を落としてしまいました。

ところで、浅井長政には信長の妹お市が嫁ぎましたね。この夫婦の間に生まれた3人の娘で、のちに豊臣秀吉との間に秀頼を産んだのは誰でしたか？ また、のちに江戸幕府2代将軍徳川秀忠に嫁いだのは誰でしょう？

秀吉の妻になったのが茶々（淀殿）であり、秀忠の妻になったのがお江でしたね。

<秀吉の「全国統一」の過程>



本能寺の変で織田信長を滅ぼした明智光秀を豊臣秀吉は山崎で破ります（天王山の戦い）。

翌年には、ライバル柴田勝家を破って織田信長の後継者としての地位を確立させます。

さらに、小牧・長久手の戦いで徳川家康と和睦し、翌年には関白となって「惣無事令」を出し、長宗我部元親を降伏させて四国を平定しました。

1586年には太政大臣となり、後陽成天皇から豊臣の姓を賜り、島津義久を降伏させて九州の平定に成功します。

そして、1590年には小田原攻めで北条氏政を滅ぼし、奥州の伊達政宗を服属させて全国統一に成功しました。

ところで、秀吉は1588年には後陽成天皇をできたばかりの建物に招きます。では、その建物とは何でしょうか？

答えは、聚楽第でしたね。

<「兵農分離」の変遷>



豊臣秀吉は検地帳に耕作者を登録し、一地一作人の原則を確立して中間搾取をなくし、荘園制を解体しました。また、石高制の確立により農地は石高で表示され、石高に応じた軍役を負担するという大名知行制が成立します。

ついで、刀狩りによって農民から武器を取り上げて百姓一揆の防止を図りました。また、身分統制令を発して武家奉公人の身分変更を禁止し、農民の転業を禁止して武家奉公人と年貢を確保するよう

にしました。さらに、関白豊臣秀次は**朝鮮出兵の人員を確保**するために、全国の戸口調査を命じました。

これらの一連の政策によって、「**兵農分離**」がすすみ、身分が固定化され、年貢も確保されていくことになりました。

ところで、刀狩りを行った真の目的は「百姓一揆の防止」にありましたが、**武器を取り上げるに際して秀吉が表明した「表向きの」理由は何だったのでしょうか？**

その理由は、**京都方広寺の大仏を建設する際、集めた武器を釘や鋸にするため**、ということでした。

<来日した主な宣教師>

ザビエル	→	ガスパル・ヴィレラ	→	ルイス・フロイス	→	ヴァリニャーニ
1549年		1556年		1563年		1579年

日本に初めてやってきた宣教師がフランシスコ・ザビエル（スペイン人）でした。**鹿児島に上陸**し、京都に行き、さらに山口・豊後で布教しています。次がヴィレラ（ポルトガル人）で、足利義輝の許可を得て畿内で布教し、「**堺の町は・・・ベニス市の如く**」と報告しました。フロイス（ポルトガル人）は織田信長と親交を重ね、信長に関する第一級の資料といえる『**日本史**』を著します。ヴァリニャーニ（イタリア人）は**天正遣欧使節**を大村純忠・有馬晴信・大友義鎮の3名のキリシタン大名に勧め、実現させました。1590年に再来日しており、活字印刷機を伝えました。

（下段の年号は彼らが日本にやってきた年）

なお、**1570年に来日した宣教師は、信長の信任を受け南蛮寺を京都に建立し、安土にセミナリオを建立しました。その人物は誰でしょうか？**

その人物は、**イタリア人のオルガンティーノ**でした。

なお、これらの**来日した宣教師が所属した会派は何ですか？**

イエズス会でしたね。他に有名なものが、フランシスコ会です。

<秀吉の宗教政策の変遷>

バテレン追放令	→	サン・フェリペ号事件	→	26聖人殉教
1587年		1596年		1596年

豊臣秀吉は九州の島津氏征討後、宣教師に対して20日以内に国外退去を命じたバテレン追放令を出しました。しかし、南蛮貿易は続けたので、キリスト教を完全に禁止するものではありませんでした。

た。1596年に土佐に漂着したスペイン船サン・フェリペ号の船員が、スペインは領土拡張の野望を持っていると発言したことから、秀吉はキリスト教禁止政策を推し進めることになります。その結果、フランシスコ会の宣教師や信者26人が捕えられ、**長崎に送られて処刑**されてしまいます。

<狩野派の変遷>



狩野派は**正信を始祖**とし、水墨画と大和絵を融合させて新しい装飾画を大成しました。狩野派は室町から江戸時代を通じて、幕府の御用絵師をして栄えました。代表的作品には、正信が『周茂叔愛蓮図』、正信の子である元信は『大徳寺大仙院花鳥図』を描きました。

元信の孫が狩野永徳で、信長・秀吉に仕え、安土城・聚楽第・大坂城の障壁画を描き、狩野派の基礎を築いた人物ですが、残された作品は少ないです。豪快な画風で有名な『**唐獅子図屏風**』『**檜図屏風**』などが代表的作品です。

さらに永徳の孫が狩野探幽で、16歳で幕府の御用絵師になり、優美な様式に変化させました。また代表的作品には『**大徳寺方丈襖絵**』があります。